

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年9月13日(最終)

2005年9月11日現在の概況：

9月11日に終わる週の気温は、全州に於いて平年より低めであった。最低気温は州南東部では20度Fの後半から30度Fの前半となった。平均気温はNC地区で平年を2~4度F下回った。降雨がWillamette盆地、並びにNE地区であり、1週間の降水量はWillametteでは0.21~1.37インチ(平均:0.12インチ)、NC地区では0.02~0.09インチであった。1週間の州平均業稼動日数は6.8日(前週:6.9日)であった。

土壌水分は多少前週より落ちたが、降雨が有ったことから2006年産冬小麦の播種が開始され全州の圃場の4%にて完了した。昨年並びに5年平均より多少早い展開であった。春小麦は全州の99%にて完了した。

NC地区のSoft White Wheatの品質は、現在までのところ蛋白質は平均9.8%で2004年産より多少低目であり、容積重平均59.3Lbs/buで昨年より多少低目。

Willamette盆地のSoft White Wheatは容積重が平均57.3Lbs/bu(昨年平均:60.0Lbs)より低く、蛋白質は2004年平均と同じ10.3%と発表された。

2005年8月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産予想では、単位収量は7月1日付け予想より4.0 bu/acre増え65.0 bushels/acreとなった。春小麦の8月1日予想も7月1日付け予想より3.0 bu/acre増え(昨年:48.0 bu/ac)60.0 bu/acreとなった。詳細は別表の通り。

土壌水分：9月11日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	25	54	21	0
Subsoil (%)	22	53	25	0

小麦生育状況：9月11日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Harvested (%)	99	97	95	98
Winter wheat Planted (%)	4	2	2	1

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2005年8月1日付けUSDA発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre		Production 1,000 Bushels		
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
July 1				Aug 1			
Crop							

OR	780	840	61.0	61.0	65.0	47,580	54,600
USA	34,462	34,271	43.5	44.5	44.4	1,499,434	1,520,848

2005年8月1日付けUSDA春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
July 1				Aug 1			
OR	175	125	48.0	57.0	60.0	8,400	7,500
USA	13,174	13,637	43.2	43.2	40.6	568,918	553,373

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>